

## 「地域課題分野」(平成27年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
利根川八斗島観測所近傍における計測技術と数値解析の融合による土砂動態の把握 (研究期間：H27年～H28年)	東京大学 知花 武佳	B
<b>&lt;研究概要&gt;</b> <p>利根川八斗島観測所は、局所的かつ大規模な土砂堆積で、突然観測困難となった。こうした急激な河床変動要因の把握に向け、ADCP を応用した流砂量と河床波の計測を行い、洪水中の流砂と流水の関係を検討した。また、浮子観測、採砂器、リング法などの伝統的手法との比較を行った。さらに、土砂動態を適切に記述可能な流砂関数を計測結果に基づいて導出すると共に、データ同化手法で粗度係数を高い確度で求める方法を検討した。</p>		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> <p>多様な手法を用いて興味深い河川水理現象が見出されるなど、研究目的は概ね達成され、研究成果があった。しかしながら、現象相互の関連性を整理して融合させた全体的な解釈が不十分であったと考えられる。 今後、個々の現象に関する成果の統合や同化手法の発展等、さらなる研究の進展が期待される。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い